

● 一番ラクに参加する方法は？ ●

さて、ここまで考えてきた方法論はあくまで待機から会場内へという環境変化に対応するという見地に基づいたものだ。

しかし、現在の環境を再検討してみれば、実はもうひとつの選択肢が浮かんでくる。

それは、**待機時間を取らない**というものだ。

10時の開場時間以降は待機列はどんどん進んでいくので、寒いといっても時間は限られる。

現在入場までにかかる時間は1時間弱程度で、入場開始後にビッグサイトに到着しても、入場できる時間に大差はない。以前に比べれば、長時間の待機時間ほどは早く入場できるメリットは薄くなっているのだ。

それなら、無理して待機列に並ばずに、その分の時間でしっかり朝食を摂って、開場後に到着し、動いている列に並べば、さして寒い思いもしないで入場できるはずだ。

もっとも、その後会場内で結局大手の行列に……というところまでは責任をもてないが……。

● 雨の時はまた別の考え方で ●

最後に、今回の記事は『基本的に晴れで、雨がもし降ったら』という程度の状況を想定している。

これが、『基本的に雨だと思ったほうがよい』とか、『既に雨（もしかしたら雪）』という状況ともなれば考え方は全く違ってくる。

冬にズボンや靴の中まで濡らしてしまったら、1日中かなりツライ思いをしなくてはならないため、特に靴と脚部の防水対策が急務になってくる。

また、最初から雨が想定されるなら、有効な方法論の1番目に『開場してから行く』がきて、その次に『完全な雨対策を講じて行く』がくると考えてよい。

正直、待機時間中ずっと冬の雨の中でろくに座れもせずに待ちつづけるのは、体力を温存する意味でも、入場後の着替えなどの手間を考えても決して得策ではない。

特に2日間の連続参加を予定しているひとは、天候や状況の変化に対してフレキシブルに対応できるだけの余裕をもった計画を立て、天候についてもいくつかのパターンを前もって検討しておくようにしよう。

ただし、開場後に到着するとしても、入場待機列が完全になくなる午後着でない限り、いくらかは並ぶことにはなるし、入場してから大手系の行列に並ぶこともあるかもしれない。

そして、人が密集する行列の最中は周囲との安全確保のためにも傘の使用は極力避けるのがセオリーのため、そういった傘がさせない状況下でも傘なしで雨の中を過ごせる程度の雨装備は用意しておかなくてはならず、なんらかのレインウェアや防水性能を持った靴やバッグは必須アイテムになってくる。

それらのレインギアを購入する際は長い目で見て、値段は少し高くても専門メーカー製のしっかりしたよいものを選択しよう。

こういったモノの良し悪しは、自分自身にダイレクトに跳ね返ってくるのだ。

● 靴中用カイロに革命！『上から貼る 足・ホットン』 ●

長い待機時間を過ごす一般参加者、じっと座っていなければならないサークル参加者共に愛用者の多い靴中用カイロ。

しかし従来品は大きくて違和感が大きかったり、歩くときに靴の中で動きまわって邪魔だったり、女性用の靴には入らないなどの欠点もあった。

そこにカイロの専門メーカー桐灰化学がこの冬登場したのがこのアイテムだ。

商品名通り足の甲側に貼るので安定した暖かさが供給され、しかもその厚みはほんの数ミリ！これなら靴を選ばず使えて、しかも至れり尽くせりなことに活性炭配合で靴中の臭いまでカットしてくれるのだ。

（もちろん、中敷型の足裏全面用もラインナップされているので、履いていく靴や靴下に合わせてちょうどよいものが選択できる）

ちなみにこのフィルムタイプカイロはコンパクトな点を活かし、ひざ用や腰用のものもある。薄い衣服の上からでも全く目立たないので、コスプレイヤーの皆さんにも福音となること間違いなし。

この冬はコレで足元からホットに過ごそう！

■ 桐灰化学Webサイト <http://www.kiribai.co.jp/>